

事例紹介大学等のプログラム概要【学生支援のテーマ別での実施】

《学生相談及び健康・メンタルヘルス支援》

1. 千葉大学（平成19年度選定）

プログラムの名称	双方向の多様な場づくりによる学生総合支援 －ふれあいの環の多面的展開を通しての「総合的人間力」の涵養
(プログラムの概要)	
<p>学生支援は、単なる学生へのサービスではなく、学生の教育・研究活動をより一層充実したものにするために欠かせない活動である。「千葉大学憲章」ならびに「千葉大学行動規範」に明記されている理念に準拠し、この学生支援プログラムでは、学生たちの学生たちによるピア・サポートや自律的活動に基づく「総合的人間力」の習得に向け、これまでに実施してきたさまざまな学生支援活動を総合的・有機的に結合して双方向に展開するために、「ふれあいの環・学生総合支援センター」を創設する。そのセンターでは、学生と学生とがふれあう環、学生と地域市民がふれあう環、学生と卒業生がふれあう環、学生と教職員がふれあう環の四つの位相を学生主導で展開するとともに、それらのふれあいを教育・研究の基底に位置づけ、学生たちの自律的で総合的な人間形成に寄与することを目指す。</p>	

2. 金沢大学（平成19年度選定）

プログラムの名称	心と体の育成による成長支援プログラム －社会に幸せをもたらす生活の知恵を持った学生の育成
(プログラムの概要)	
<p>金沢大学は従来の学生支援に医師（学校医、産業医）の視点を加え、すべての学生が自己に対しても、社会に対しても幸せをもたらす生活の知恵を身に付けて卒業する全学的教育プログラムを構築することを目指す。具体的には、平成18年度から導入した必修科目「大学・社会生活論」の「健康論」をより充実させつつ、健康診断の結果をもとに学生各自の高い水準での心身の自己管理能力を育成するとともに、コミュニケーション能力を育成する機会、および、安全衛生、健康支援等に関する科目を実践的な実習科目を含めて拡充し、社会全体の安全や健康を支援する他者援助精神を持つ人材育成を、従来以上に積極的に行う。プログラムの実施は保健管理センターを中心に、全部局が一体となって、すべての学生を対象に行う。</p>	

3. 岐阜大学（平成19年度選定）

プログラムの名称	生涯健康を目指した学生健康支援プログラム －生涯健康教育の推進と健康支援の充実
(プログラムの概要)	
<p>大学は、教養・専門教育と並んで、肉体的・精神的に健康な学生を社会に送る責任がある。岐阜大学は、憲章と基本方針において、学生の健康支援と生涯健康教育を明文化し、肥満、痩せすぎ対策、喫煙対策、メンタルヘルスなどについて、次のような対策を講じている。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 新入生全員に対して健康診断を行い、問題のある学生には個別指導を行う。2. 肥満(男子学生の13%)、痩せすぎ(女子学生の18%)に対して、糖尿病・肥満の専門医が血液検査に基づき栄養相談、健康相談を行う。3. 学生に喫煙習慣をつけないため、キャンパスを全面禁煙にし、喫煙学生に対しては、ニコチンパッチを無料で配布している。喫煙学生は確実に減少している。4. メンタルヘルスについて、精神科専門医が個別相談に応じる。 <p>本プログラムにおいては、「生涯健康教育」の推進に向けて、保健管理センターを中心に全学的なネットワークによる健康支援体制を充実して取り組む。</p>	

4. 聖徳大学短期大学部（平成 19 年度選定）

プログラムの名称	All For One をめざす学生支援活動 －全教職員によるインターカー・サポート
<p>（プログラムの概要）</p> <p>本学保育科の学生支援は、設立時よりクラス担任と学生部が学生支援の担い手となってきた。以前よりきめ細かい学生支援を行ってきたが、近年、学生生活満足度は低下傾向にある。そのため、学生支援の方法を見直す必要が出てきた。</p> <p>また、最近の学生からの相談内容は、学科の適性、短大生活の問題、人間関係、家族関係、就職・進学の問題など多岐にわたる。カウンセリングを受ける学生の心の問題の背景には精神的未発達などもあり、支援には各部署との連携は欠かせない。また、貧血なども多く女性健康支援の体制も充実させる必要がある。</p> <p>今年度より、全教職員が正しい情報、知識を共有し対応することを目的とし、新たに学生サポート推進委員会を設置した。今後の学生支援には、全教職員がインターカーとなり学生一人ひとりに対応し、必要に応じチームを組んで支援するAll For One のサポートシステム、その窓口の「よろず相談コーナー」が大きな力となる。</p>	